

会 議 録

会議の名称	令和5年度第3回太子町総合教育会議																
開催の日時	令和6年2月20日（火）午前9時～午前9時40分																
開催の場所	太子町役場 地域交流棟2階 スペース②																
出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">（町長） 沖汐 守彦</td> <td style="width: 50%;">（教育長） 糸井香代子</td> </tr> <tr> <td>（副町長） 榮藤 雅雄</td> <td>（教育委員） 福田 秀樹</td> </tr> <tr> <td>（総務部長） 森田 好紀</td> <td>（教育委員） 福本 充治</td> </tr> <tr> <td>（生活福祉部長） 嶋津 一弥</td> <td>（教育委員） 杉本 泰代</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（教育委員） 竹澤 秀代</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（教育次長） 森 文彰</td> </tr> </table>	（町長） 沖汐 守彦	（教育長） 糸井香代子	（副町長） 榮藤 雅雄	（教育委員） 福田 秀樹	（総務部長） 森田 好紀	（教育委員） 福本 充治	（生活福祉部長） 嶋津 一弥	（教育委員） 杉本 泰代		（教育委員） 竹澤 秀代		（教育次長） 森 文彰				
（町長） 沖汐 守彦	（教育長） 糸井香代子																
（副町長） 榮藤 雅雄	（教育委員） 福田 秀樹																
（総務部長） 森田 好紀	（教育委員） 福本 充治																
（生活福祉部長） 嶋津 一弥	（教育委員） 杉本 泰代																
	（教育委員） 竹澤 秀代																
	（教育次長） 森 文彰																
陪席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">陪席者（総務部総務課長）</td> <td style="width: 50%;">中井 義之</td> </tr> <tr> <td>（総務部財政課長）</td> <td>佐々木信人</td> </tr> <tr> <td>（生活福祉部社会福祉課長）</td> <td>肥塚 馨</td> </tr> <tr> <td>（教育委員会管理課長）</td> <td>改野 学由</td> </tr> <tr> <td>（教育委員会社会教育課長）</td> <td>大谷 康弘</td> </tr> <tr> <td>（教育委員会文化推進課長）</td> <td>森本 麻友</td> </tr> <tr> <td>事務局（総務部企画政策課長）</td> <td>熊谷 恵之</td> </tr> <tr> <td>（総務部企画政策課係長）</td> <td>井出 洋平</td> </tr> </table>	陪席者（総務部総務課長）	中井 義之	（総務部財政課長）	佐々木信人	（生活福祉部社会福祉課長）	肥塚 馨	（教育委員会管理課長）	改野 学由	（教育委員会社会教育課長）	大谷 康弘	（教育委員会文化推進課長）	森本 麻友	事務局（総務部企画政策課長）	熊谷 恵之	（総務部企画政策課係長）	井出 洋平
陪席者（総務部総務課長）	中井 義之																
（総務部財政課長）	佐々木信人																
（生活福祉部社会福祉課長）	肥塚 馨																
（教育委員会管理課長）	改野 学由																
（教育委員会社会教育課長）	大谷 康弘																
（教育委員会文化推進課長）	森本 麻友																
事務局（総務部企画政策課長）	熊谷 恵之																
（総務部企画政策課係長）	井出 洋平																
傍聴者	なし																
議事	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和6年度の組織改正に向けた子ども政策の一元化の進捗状況等について (2) 令和6年度教育委員会各所管の重点項目に係る予算措置状況について (3) 太子町教育大綱の位置付けについて 																
会議の概要	別紙議事録のとおり																
公開・非公開の区分	公開																
使用した資料	次第・令和5年度第3回太子町総合教育会議資料																
連絡先	総務部企画政策課 TEL:079-277-5998 FAX:079-276-3892																

1 開会

事務局

(熊谷企画政策課長)

失礼いたします。定刻となりましたので、ただ今から令和5年度第3回太子町総合教育会議を開会いたします。

本日の司会進行を務めさせていただきます、企画政策課の熊谷でございます。よろしくお願いいたします。

まずはじめに、沖汐町長からご挨拶を申し上げます。

2 あいさつ

沖汐町長

本日は、大変お忙しい中、定例教育委員会の前に、令和5年度第3回太子町総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、平素は、町教育行政の運営に格別のご配慮を賜っておりますこと、厚くお礼申し上げます。

さて、今年度も残り1か月と少しとなり、年度末が近づいてまいりました。この会議も第3回ということで、今年度最後の開催となります。

今回の第3回の会議においては、いよいよ令和6年4月よりスタートいたします「こどもおえがお課」をはじめとした子ども政策の一元化の進捗状況等について、令和6年度教育委員会各所管の重点項目に係る予算措置状況について、太子町教育大綱の位置付けについて、意見交換をさせていただく予定です。

明後日からは、新年度予算案の審議を含めた令和6年3月定例議会も開会いたします。特に「子育て施策」に注力して編成しました予算案について、しっかりと対応してまいりたいと考えております。

この後は、定例教育委員会も開催されるということで、限られた時間ではございますが、本町教育のビジョンや課題を共有し、さらに連携・協力して、令和6年度においても、しっかりと教育行政を推進していくことができると考えております。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局

(熊谷企画政策課長)

それではまず、この会議の構成員を確認させていただきます。

お手元の資料の1ページに構成員名簿をつけさせていただいております。第1回、第2回と同様、この名簿のとおりでございますので、よろしくお願いいたします。

また、陪席者として町長部局より総務課長、財政課長、社会福祉課長、教育委員会より管理課長、社会教育課長、文化推進課長が出席しております。

なお、事務局は、企画政策課の 私熊谷 と 井出 が担当いたします。

3 議事録署名委員の選定

事務局

(熊谷企画政策課長)

次に、次第の「3」、議事録署名委員の選定につきましては、本日は、福田秀樹委員 と 竹澤秀代委員 をお願いしたいと思います。

お二人には、後日、事務局がまとめました議事録をご確認の上、署名をお願いいたします。

4 議事

事務局

次に、次第の「4」、議事に移ります。8月の第1回及び11月の第2回の総合教

育会議において、同時点における「令和6年度の子ども政策の一元化に向けた組織改正の方向性等」について、現状の報告を行った上で意見交換をさせていただきました。

そこで、1点目の議題としましては、新年度も迫っておりますので、現段階において、子ども政策に関する組織改正を含めた町行政改革を取りまとめております、行政改革推進本部における「子育て支援体制構築部会」の進捗状況等について、資料は2ページと図面等の3ページでございますが、森田総務部長よりご説明申し上げます。

なお、3ページの図面等については、今月26日に発行いたします「広報たいし3月号」の記事となっておりますので、よろしくお願いたします。

森田総務部長

それでは2ページをお願いいたします。まず一番最初のフロア移転についてでございますけれども、2階行政棟に子育て支援体制の整備ということで、各関係課をここを集約するというところで進んでおります。その移転に係る経費等につきましても、12月の定例議会で補正予算が可決されておりますので、今、順次進めているところではございますが、1月には各関係課で色々と協議をして、方向性を出しております。

フロア移転についてですが、3月21日から24日で、教育長室や電気配線の工事等を実施することとしております。実際の本移転につきましては、3月29日から31日で実施する予定としており、4月1日から新しい体制でスタートすることとしております。

なお、これらの事業につきましては、できるだけ前倒して実施したいということで、総務課で調整しているところでございます。

次に2点目です。学童保育についてでございますが、待機児童をゼロにするということを目指して努力しているところです。定員超過となっております石海学童保育園については、JA兵庫西の借受スペースを拡大して、取り組むこととしております。

また2月1日に、学童保育を民間委託しております播磨町を視察させていただきました。今後太子町において、導入していくかどうかについては、令和6年度に検討を進めていきたいと考えております。

次に3点目、文化会館の大規模改修についてですが、令和6年度で実施設計を行いまして、令和7年度・8年度の2か年を工事期間として考えているところです。その間、文化会館は全面休館ということをご予定しておりますので、令和7年度の使用予約等については、住民の方にも、令和6年度中にお知らせするようなことが必要かと思っております。

次に4点目、ふれあいホールの貸館を終了することについてですが、不登校児童生徒の支援拠点として、「太子町教育支援センター・みらいえ」を開設することに伴いまして、ふれあいホールはこれまで文化会館の貸館として利用しておりましたが、これを終了するというものでございます。

また、教育支援センターの設置条例につきましては、3月の定例議会で上程をさせていただくこととしております。

次に3ページをお願いいたします。3ページにつきましては、2月末に配布予定の広

報たいし3月号でございます。機構改革及び行財政改革のことをテーマとして挙げさせていただきます。

まず、左の上のところですが、今回、太子町行政改革の主な取組として、一部例を挙げさせていただきます。下の段につきましては、太子町の各部署の名称と主な業務内容を表記させていただきます。

この中で、まず一番上の企画政策課につきましては、住民協働窓口ということで、聖徳太子没後1400年プロジェクトで新たに紡がれたまちづくりを、各種団体との絆を今後も活かしていきたいという想いから、相談できる窓口を企画政策課に設置いたします。

次に、総務課、財政課につきましては、交流棟の3階に部署が移る形となります。

次に、生活福祉部では、福祉総合相談窓口ということで、専門職の方が福祉全般の相談をお受けして、高年介護課、社会福祉課が連携してチームで対応する体制をとらせていただきます。

経済建設部は特に変更はございません。教育委員会では、管理課、こどもえがお課、社会教育課が行政棟の2階に移る形となります。中でもこどもえがお課につきましては、新たに課を設置して対応するというので、同課を含めて子ども政策関連の窓口を集約するというので考えております。

次に、右側の上のところですが、実際の配置図を載せさせていただきます。下の段については、太子町教育支援センターの名称として、「みらいえ」という名前で開設することを表記しております。

住民の皆様には、適時機会を捉えて周知をしていきたいと考えております。私からは以上でございます。

事務局

ありがとうございました。

(熊谷企画政策課長)

それでは、資料の2ページ3ページにつきまして、教育委員の皆さんから何かご意見やご質問などございましたら、よろしく願いいたします。

福田教育委員

令和6年度から福祉と教育の横断的な課ができ、また、子ども関連の所管を含めた教育委員会を一つのフロアに集めるということで、子育て世代の多い太子町にとって本当に素晴らしい前進した取組であると思います。ありがとうございます。

また、学童保育の待機児童ゼロや不登校児童生徒への対応を専門に扱う部署など、喫緊の課題にも前向きに向き合い、一生懸命取り組んでいただいておりますことに、本当に感謝しております。

今後はこういう状況を拡大していき、子育て世代が輝く、子どもたちの笑顔が絶えないまちになるよう、私自身も教育委員として、精一杯協力していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

事務局

ありがとうございます。それでは、他にはご意見がないようですので、組織再編関係につきましては、いただきましたご意見を参考にさせていただきますながら、本年4月の施

(熊谷企画政策課長)

行に向けて進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

次に、2点目の令和6年度教育委員会各所管の重点項目に係る予算措置状況についてでございます。庁内では、昨年12月に予算一次査定、本年1月に二次査定の町長査定が行われ、明後日22日より、令和6年3月定例議会もスタートしてまいります。

そこで、11月の会議で教育委員会よりいただきました令和6年度の各所管の重点項目について、予算の措置状況を資料4ページから6ページにまとめております。

このことについて、沖汐町長より、措置の概要についてご説明を申し上げます。

沖汐町長

時間もありませんので簡単に説明をさせていただきます。

まず、懸案であった太子西中学校のトイレについて、南館を令和6年度、北館を令和7年度で予算計上してまいります。西中は洋式化率が非常に低かったですので、これを何とか解決したいということでもあります。

次に、ランドセル棚の改修については、財政上の問題で私から減らさせていただきました。非常に経費もかかるものですので、申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。

次に、消耗品の関係については、若干増加ということにさせていただいています。

次に、基礎学力の関係で、教育委員会から要望のあった「話」と「和」でつながる言語認識能力育成事業ですが、一度やってみて、その後振り返りもしていただきながら、継続するべきか、又は新たな視点で取り組んだ方がいいのか、教育委員会と調整をしながら進めていければと思います。それから外国語指導については、2名の増員要望を財政上の関係で1名の増とさせていただきました。

次に、幼児体力アップ事業、このリズム体操については、基礎体力がアップするというところで、宍粟市の方では実績も上がっていますので、先生方には意識して取り組んでいただけたらと考えています。

次に、給食費の関係ですが、現在の学校給食において、今年はパン代と牛乳代が5円程度上がっているかと思えます。令和6年度においても、1人500円の主食費補助については延長しましたが、物価高騰の影響で食材費は1.15倍から1.2倍程度まで上がっています。ところが給食費は上げておりません。しかしながら、品数が3品あったものを2品にするようなことは決してなくて、栄養職員の方々の配慮や苦勞などもあり、現在も従来と同じように給食提供をさせていただいているところです。

そうは言いながらも、基礎単価が上がっていますので、公約としては無償化を目標としていますが、給食費を据え置きとする中で、物価上昇分を町の方で助成させていただくというところに留まっているのが現状であります。令和6年度においては、行革の中で補助金などの見直しも予定していますので、これらの中で給食費についてもできるだけ助成していきたいという希望はもっているところです。

次に、公民館関係については、斑鳩公民館を文化会館へ、石海公民館を保健福祉会館に動かすという想定で実施設計に入っていく予定です。

次に、人権関係については、兵庫県でパートナーシップ制度が施行されますので、太子町の計画においても文言を入れた形としており、今後、町でも必要な手続きを進めて

いくこととしています。

さらに、戸籍の第三者取得についても、現在は、弁護士や税理士などのいわゆる「士」という業種が8つほどありますが、これらの第三者が他者の戸籍を取得することは職務上可能ではある中、第三者が戸籍を取得した際にそれを通報する、「あなたの戸籍を他の方が取得されましたよ。」と通報する制度があります。これについても、今後、検討していくこととしております。

次に、来年以降、総合公園の陸上競技場について、3種公認の関係で改修等に費用がかかってくるだろうということで、それに向けても整理をしていきたいと思っております。

最後に、文化会館、歴史資料館については、資料に記載のとおりですが、文化会館の大規模改修について、実施設計を行う中で、改修に係る費用の規模、金額が出てきますので、財政課とも協議しながら、また、全体予算の状況も見ながら、どこまでやるかということを決めていきたいと思っております。

いずれにしても、教育委員会と連携しながら、意見をしっかりと聞かせていただき、力を入れてやっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

事務局

(熊谷企画政策課長)

ありがとうございました。次に、教育次長より、このことについて補足等がありましたらお願いいたします。

森教育次長

今回の新年度予算については、全体像としましては、人件費等が膨らんでいることもあり、かなり財政上厳しい状況となっています。そのような中、町全体の予算に占める教育費の割合が12.42%ということで、今年度当初の12.18%を上回っております。もちろん要求に対して100点満点というわけではないですが、概ね要望を通していただいたという感触を受けています。その中で、先ほどの町長からの概要説明について、2点補足させていただきたいと思っております。

まず、小学校のランドセル棚の改修事業ですが、本件については、町内小学校を順次実施予定としており、当初、来年度は太田小学校を予定して、重点事項として実施することとしておりました。先ほど、町長から自ら予算をカットしたというようなお話がございましたが、町全体の中の兼ね合いにより、やむなく所管課より案件を取り下げたというような経緯でございます。次回以降も改めてこの太田小学校の棚改修については、要求していきたいと考えております。

それから2点目、「話」と「和」でつながる言語認識能力育成事業についてですが、まず、ALTにつきましては、2名の増員要望に対して1名の増員となったところがありますが、今年度と比較しましては1名の増員ということで3名体制となり、この増員予定の1名については、主に小学校のさらなる指導充実のために活用できるという見込みになりました。その点については、本当にありがたく思っているところです。

また、学校司書については、現状、管理課に所属している司書が臨時的に業務を一部担っているところもございますので、これについても、今後の計画的な配置に向けまして協議を続けていきたいと思っております。

重ねてになりますが、全体像としましては、財政部局をはじめ町当局には、こちらの要望を概ね通していただいたという感触を受けていますので、無事に予算が可決しましたら、今以上に教育委員会として頑張らせていただきたいと思います。

事務局

ありがとうございました。

(熊谷企画政策課長)

それでは予算のことにつきまして、教育委員の皆さんよりご質問がございましたらお願いいたします。

福本教育委員

非常に細部にわたる予算を設定していただきありがとうございます。先送りとなったもの、継続となったもの、新規で措置していただいたもの、様々ありますが、検証、振り返りをしっかりと行いながら、実績が上がるものなどについては、さらなる予算措置を講じていただければと思います。

特に、先ほど ALT の増員が 2 名から 1 名となった部分については、小学校の間に英語教育を行えば効率的だということもありますので、来年度以降、引き続き検討していただければ助かります。

竹澤教育委員

学校給食について、物価高騰の中、非常に配慮いただきましてありがとうございます。3 月までの補助の部分についても、保護者の方からありがたいという声も聞いております。

また、新規の「話」と「和」でつながる言語認識能力育成事業や幼児体力アップ事業について、小さい頃であればあるほど身に付くということを実感しているところですので、是非、太子町で子どもたちが輝ける、そういった場に出ているような子がたくさん出てくると嬉しいと思いながら聞いておりました。

どうぞよろしく願いいたします。

福田教育委員

先ほど、人権の部分で戸籍の通報制度について町長に触れていただきました。町民の人権を守るという点で、非常に大事なことだと考えていますので、是非、実現していただけたらと思っています。

事務局

ありがとうございました。

(熊谷企画政策課長)

それでは、この予算が議決されましたら、しっかりと邁進していきたいと思しますので、よろしく願いいたします。

次に、3 点目の太子町教育大綱の位置付けについてでございます。資料 7 ページに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく太子町教育大綱の位置付け、太子町教育振興基本計画との兼ね合いについて、整理をさせていただいております。8 ページから 28 ページは現行の「太子町教育振興基本計画」でございます。

現在、教育委員会において、令和 6 年度から 5 年間の「第 3 期太子町教育振興基本計画」を策定されているところですが、現在の取扱い、教育行政に対する町長、教育委員

会の方向性を同じものとし、一体となって取り組むことができることなどの観点から、この度改定される「太子町教育振興基本計画」についても、引き続き、同計画全体を「太子町教育大綱」として位置付けることとしたいと考えております。

資料において、近隣市町の状況の部分がございしますが、西播磨地域では、教育振興基本計画を教育大綱として位置付けておられる団体が5団体ございします。また、宍粟市につきましては、別に策定しているという状況ではありますが、市長と教育委員会が連名で発出しているというものであり、向いている方向は同じというところではございました。

次の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、第1条の3第1項に、地方公共団体の長は、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるとあり、第2項では、その対応については、あらかじめ総合教育会議において協議するものとされております。

現状におきましては、次期教育振興基本計画を教育委員会の方で策定中という状況であると伺っておりますので、これが定まり次第、太子町におきましても、太子町教育大綱として位置付けをさせていただきたいと考えております。

このことについて、教育委員の皆さま、特にご異議がなければ、一体となって進めさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

【 異議なし 】

ありがとうございます。それでは、3点目の太子町教育大綱の位置付けについては、以上で終了とさせていただきます。しっかりと同じ方向を向いて取組を進めてまいります。

榮藤副町長

先ほどの教育大綱については、総合教育会議が法定になった際、私は企画政策課長でありました。教育大綱と教育振興計画基本計画を兼ねるということについて、当時、国からQ&Aが発出されまして、地方からの質問に対し、全く問題はないということが出ていますので、もちろん別々に策定することも問題ありませんが、この場でご紹介させていただきます。

5 その他

事務局

(熊谷企画政策課長)

次に、次第の「5」、その他に移ります。せっかくの機会ですので、ご質問やご意見等がございましたら、よろしく申し上げます。

杉本教育委員

非常に様々な件がスムーズに進んでおり、特に意見はないのですが、本日も新聞に掲載されていましたが、4月以降の「こどもえがお課」について、このスタートをととても楽しみにしております。

6 閉会

事務局

(熊谷企画政策課長)

ありがとうございました。

それでは議事は全て終了いたしましたので、閉会ということで、糸井教育長からご挨拶を頂戴いたします。

糸井教育長

本日は皆さん本当にありがとうございました。3回目の総合教育会議でしたけれども、この1年間、本当に大きな変革の年であったと感じております。これも町長の教育を大切にという姿勢のもと、私たち教育委員会も、教育委員さんのご意見を聞きながら前に進んできたと思っております。対話を大切に動いた1年、そのように振り返っていますが、その中で、こどもえがお課の新設に加え、管理課及びこどもえがお課に指導主事の配置も要望しているところです。

また、社会教育や文化推進の視点からも、施設の改修などを含め、町民サービスが低下しないように様々な配慮をもちながら事業を進めていきたいと考えております。

先ほどから出ております教育振興基本計画につきましても、今ご意見を聞きながら完成に近づいているところですが、その中の大きなテーマとして、「つながり」や「きずな」という言葉が何度も出てきます。最終的には、兵庫県、太子町が目標にしております「自立する人づくり」を目指して、来年度も頑張っていきたいと思っております。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。